▲多久市では７月24日からの総雨量が各観測地点で400ミリを超え、井上区では446ミリに達するなど記録的な大雨となりました。牟田辺遊水地が完成後、初めての導入貯留となり、26日には南多久町の１地区と東多久町の６地区に避難勧告も発令。自主的避難も含め、89世帯176人が公民館や小学校に避難されるなど、生活や交通機関に大きな影響がでました。
（写真は増水した牛津川 東多久町大井手橋付近）

▲陸上競技場で開いた武冨豊監督の陸上教室。同監督の「ふるさと多久からいただく応援や激励に感謝したい」という思いから実現し、約70人の小中高生が効率的な走り方や故障しないための身体づくりの指導を受けました。

▼新型インフルエンザへの感染の仕組みや日常生活の予防法などを知って、大流行に備えてほしいと、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の田代隆良教授を迎え開きました。

７月

- １日　多久市特産『青しまうり漬』が販売開始
- 11日　誘致企業の株式会社佐賀鉄工所多久工場の開所式
- 23日　市と防災協力協定を結んだ『多久市防災協力協議会』が発足
- 24日　平成21年７月中国・九州北部豪雨（～31日）
- 26日　豪雨による避難勧告発令（７地区）

８月

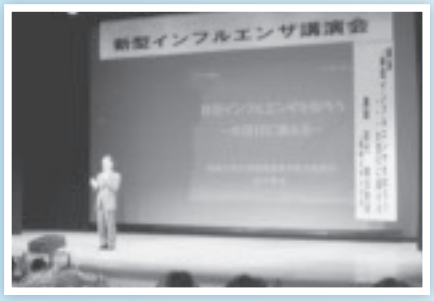
- ２日　西多久を考える会が『西多久音頭』をCD化。鳥井康代さんと川浪正則さんの歌声で収録
- ４日　地上デジタルテレビ放送無料説明会が５町の公民館で行われる
- 15～16日　第61回 多久山笠
- 18日　多久市同和問題講演会
- 18日　給食センターの１日体験「夏休みクッキングスクール」
- 23日　一新した多久市消防団５分団12部の全小型動力ポンプの配置式
- 23日　市長選挙が告示され、横尾市長無投票当選
- 30日　第45回衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査、多久市議会議員補欠選挙投開票

９月

- １日　多久市議会だより創刊
- １日　市内の小中学校全教室に壁掛け式扇風機を３台ずつ設置。２学期から一斉に稼動
- ５日　多久市童謡の集い
- ６日　多久市消防団訓練大会
- 12日　ご長寿を祝い市長が最高齢者と100歳の４人を表敬訪問
- 17日　横尾市長４期目の初登庁
- 21日　天満屋女子陸上部の武冨豊監督を招き『陸上教室』を開催

10月

- 10日　新型インフルエンザ講演会
- 11日　藤田和彦副市長退任
- 16日　多久ロータリークラブが創立25周年を記念し、中央公民館前に太陽電池式電波屋外時計を寄贈
- 25日　秋季釈菜・孔子祭
- 29日　第１回多久市学校『電子黒板活用』授業研究会



11月

- ２日　平成21年度教育委員会表彰式
- ３日　平成21年度市政功労者表彰式
- 11～13日　天皇皇后両陛下御即位20年の祝意記帳所を、市役所ロビーに設置
- 14日　孔子の里・多久　紅葉まつり
- 15日　多久市金婚式および社会福祉協議会表彰式

▼オーストラリアのボブ・ホークスカラーシップ財団から市に苗木30本が寄贈。財団の主宰者で元首相でもあるボブ・ホーク氏も来市されました。「満開に咲いたジャガランダを友好の証として、心に刻んでほしい」と話され、中央公園に記念植樹されました。

３月に市内の全世帯に配布した「新型インフルエンザ対応ハンドブック」を再度読み直し、今回配布しているリーフレットを洗面所などにはって、インフルエンザ予防に努めてください。